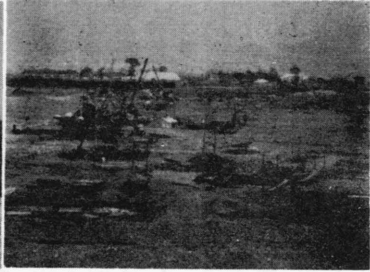
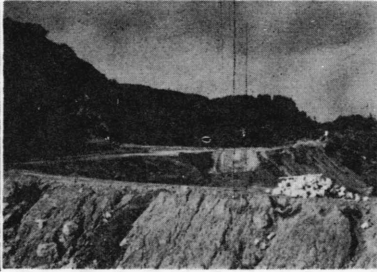
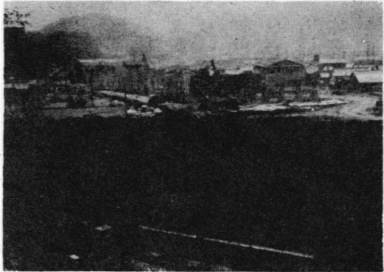
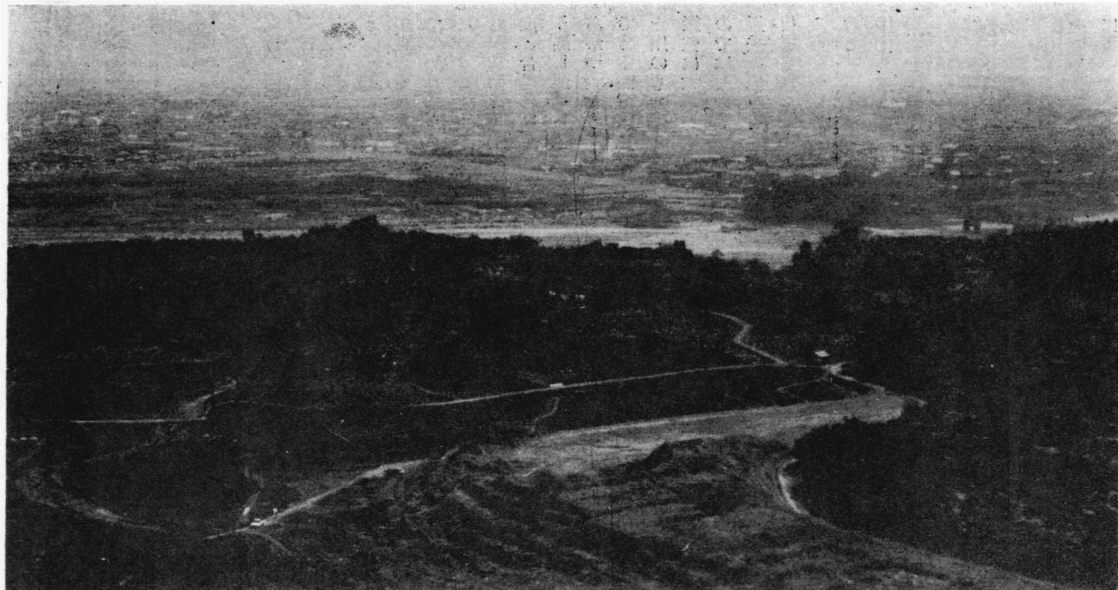


広報 ふじかわ

12
月
号

町の現況			
面積			31.09Km ²
人口	40.11.1現在		14,524人
男			7,192人
女			7,332人
世帯数	40.10.1現在		3,063世帯
町議員数			16人



サービスエリア

当町内に新設される高速自動車道路サービスエリアは、かねてよりその選地に慎重な検討が加えられていましたが、今回、ついに岩瀬地内の舟山・物見堂附近一帯に決定しました。

サービスエリアは二万三千坪の広さを誇り、上下線百五十台の駐車場を備えています。

エリア内には、上り下りの乗用・貨物車乗員旅客の便をはかり、その休憩所としてレストハウス（五〜六百坪）も建設されます。

工事は来春一月早々に着工される予定ですが、東名高速道路完工の暁には、全線のサービスエリアの中でも異色ある景観を提供することでしょう。

富士川河口の広大な三角州を一望に収め、頭上に麗峰を仰ぐエリア。蜜柑の香りを秘めた丘陵に包まれ、上下するハイウェイカー。自然が鮮鋭な新造味とかなでる混和美。エリアは、新しい時代を生きていくわたしたちの象徴として、いま、生まれつつあります。

写真説明

上段、岩瀬舟山、物見堂附近に決定したサービスエリア予定地
 下段、右小池地区高架工事現場
 中、新町四十九地区切土工事現場
 左、新富士川橋建設工事現場

庵原 三町合併のとき 知事、県政懇談会で力説

移動県政懇談会が11月2日午後1時から蒲原町役場会議室で開かれました。

県側から斎藤知事はじめ永原企画調整部長、出先各事務所長ら、また地元からは佐藤一郎県議、中川富士川、井上蒲原、原由比の各町長のほか三町の各業界、PTA各種団体、県政モニターなど数十人が参加しました。

地元から各種の当面する問題についての質疑や要望が出され、県側も協力を約束、知事はとくに地元三町の合併、市制の施行を熱心に促していました。

当町からは町長ほか石川議長、大久保総務課長はじめ次の方々が参加しました。(敬称略)

農業関係 常盤清、林業関係 石川文彦、商工関係 齋藤久男、青少年関係 丸山博康、婦人・母親関係 望月八代、PTA 若月吉太郎・風岡肇、区長会 池上憲自治教室 滝利雄、モニター 望月義朗

▲三町合併 合併は、あくまでもあなたがた地元住民の考えにより知事は次の各項を明らかにしました

なければならぬ。わたくしは、この庵原郡が歴史立地、産業、経済、文化の点からみても三町が合併し市制を施行することがもつとも自然な姿だと思

う。市制の特例法があるので合併の促進をはか

たい。富士川町が一時富士市と合併とい

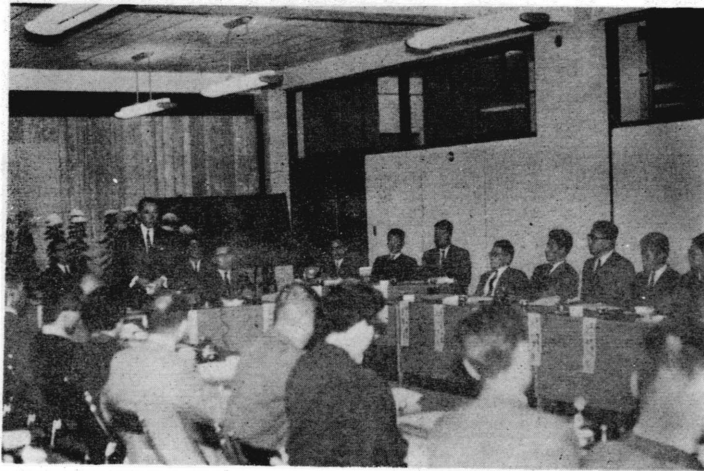
う話しがもちあがつたよう

であるが、富士川のもつ絶

縁性は大きい

のではないか

過去の他市合併結果にもその実例が見られる。例えば川向うである施設を設置するところら側でもそれと同じ施設を強く希望するなどその対抗意識に災いされて



いる。これはほんの一例であり、このような欠点が新市の躍進をばんでいる。庵原郡が合併して、それから静清、または岳南と合併という方向も考えられるが、これは今後の問題であり、当面、まず三町が合併して市になり、将来にそなえるべきだと思

う。国道バイパス この地域の交通難は東海道随一となつて

いる。交通事故が多発し、商店の売り上げが減るなどまことに残念なことで

ある。これはほんの一例であり、このような欠点

が新市の躍進をばんで

いる。庵原郡が合併して、

それから静清、または岳南と合併

という方向も考えられるが、これは今後の問題であり、当面、まず三町が合併して市になり、将来にそなえるべきだと思

う。国道バイパス この地域の交通難は東海道随一となつて

いる。交通事故が多発し、商店の売り上げが減るなどまことに残念なことで

ある。これはほんの一例であり、このような欠点

が新市の躍進をばんで

いる。庵原郡が合併して、

それから静清、または岳南と合併

という方向も考えられるが、これは今後の問題であり、当面、まず三町が合併して市になり、将来にそなえるべきだと思

う。国道バイパス この地域の交通難は東海道随一となつて

いる。交通事故が多発し、商店の売り上げが減るなどまことに残念なことで

ある。これはほんの一例であり、このような欠点

が新市の躍進をばんで

いる。庵原郡が合併して、

それから静清、または岳南と合併

という方向も考えられるが、これは今後の問題であり、当面、まず三町が合併して市になり、将来にそなえるべきだと思

う。国道バイパス この地域の交通難は東海道随一となつて

いる。交通事故が多発し、商店の売り上げが減るなどまことに残念なことで

▲庵原郡下高等学校設置に協力

▲富士川鉄橋歩道着工

▲青少年育成

▲岩淵駅の移転・東口の開設の件

▲小池川改修

▲林業

▲二小校舎改築と二中教育格差の問題

▲一中プール問題

▲富士宮由比線

▲中川町長は、なお、一小、二小の改築を順次実施していくと発言

▲小池川の改修とあわせて、県の援助協力を強く要請しました。

▲中川町長は、なお、一小、二小の改築を順次実施していくと発言

▲小池川の改修とあわせて、県の援助協力を強く要請しました。

楽しかった巡回指導

若い指導者養成を

松野地区子供会世話人連合会（会長望月志郎君）は九月から十月にかけて子供会の巡回指導を行い、各地区の子供達に、ゲーム、歌、話し合いなどを行い、インリーダーの養成を計った。

松野地区 子供会の活動

松野地区の子供会の会員は母親が多く、青年層は八名に留まっている。約四十五名の会員で構成。

巡回指導に当たった望月会長は次のような感想を語った。

「松野地区は若い指導者が少ないため、各部落とも上級生の母親が世話人として子供会の面倒をみている。そのため毎年行なっている巡回指導も若い指導者三〜五人で回ることになる。今迄の例に従って各部落二十ヶ所毎晩続けて指導をしたので指導者に疲れが出てしまい結果としてはうまくなかつたような気がする内容としては、始めに全員の自己紹介

※今晚はどなたです？
「〇年×組 〇〇です」

好きなもの、きらいなもの
「ああ……そうですか」というように行なつた。

次に簡単なゲームや歌を行ない、その場の雰囲気を変えるにつれ、ゲームの内容を変えていった。

しかし時間が七時から九時までとなつているので人数の関係もあり、ゲームや歌だけで終つてしまつた。

時間の問題、指導者層の薄さなどで盛りたくなかつた。企画が実施できなかつた。

また、各部落により子供会の集回回数も、まちまちで、小さい部落は、ほとんど

ど行なつていない所もあった。僕たちの最初の目的は巡回指導を兼ねて若い指導者の勧誘もするつもりでしたが、仲々うまくいかなかつた。これからは、もつと青年や高校生若き指導者をもつていきたい」



山島君一位に

町五種競技会

秋晴れの好天気にも恵まれた11月3日、一中校庭において休協陸上部主催の第二回五種競技会が行なわれた。当日は、町内青年、高校生、中学生の陸上競技愛好者47名が参加、五種目に技を競つた。

この競技会は、記録向上の目的にのみとられず、陸上競技の審判法もお互いに研究しあつている。今後春、秋実施の予定であるので多数の参加が望まれる。

※結果は次のとおり

一位 山島米蔵 百米12秒5、走高跳1米55、80米ハードル11秒9、砲丸投12米83、二五〇〇米4分55秒0

二位 丸山博康、三位 大村謙次
四位 大村 武、五位 望月英美
六位 古屋逸亘

県・町道舗装工事

高速自動車道路工事にともない県道・町道の舗装工事が行なわれます。

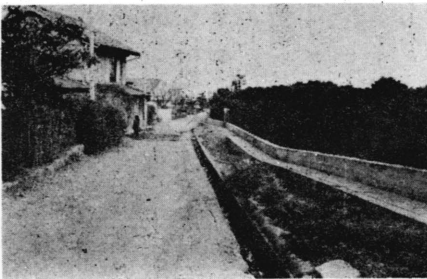
県道岩瀨〜岩瀨停車場線（岩瀨駅前〜役場前〜富士川橋）延長一八〇〇米の未舗装地区一、二〇〇米町道、町道一号線、三七三米（新町四十九〜車坂間）

いづれもアスファルト舗装で行なわれ、工期は十二月二十日までとなつている。

工事中道路が狭くなるので、車の運転者は、歩行者をみつけたら必ず除行をして下さい。

写真は

現在拡巾工事中の八在神社前附近



県副知事を迎え

町自治教室

富士川町自治教室は、11月16日午後1時、福祉センターに山本明県副知事を講師に迎え、研究会を開きました。これには町婦人学級生も出席、午後4時まで熱心に聴講しました。

副知事の「国と県と町のビジョン」と題するこの講演の要点は次のとおりです。

剣道六段位獲得

尾崎体育協会理事、剣道部長尾崎初男さん（尾崎印刷社長41才）は、11月20日東京警視庁武道館で開かれた日本剣道連盟主催の昇段審査会で六段位を授与されました。

尾崎さんは昭和32年、町体育協会発足以来、役員を歴任し、町体育面の指導者の一人として、とくに剣道の精進を通して青少年の健全育成を心がけてきました。

今回の授与は、たんに尾崎さんの栄与にとどまらず、町剣道の発展に拍車をかけることでしょう。



△講演する山本県副知事▽

- ①東京―大阪間に置かれたこの地域が近い将来、東海道巨帯都市となる可能性が強く、その新時代に備えなければならぬ。
- ②富士川の河川利用高度化に、三者一体の努力が必要と思われる。
- ③今後の開発計画は、市、あるいは町単位としてすめられるものでなく、大ブロックで構想され推進される。

※※※

12月行事予定

(1月4日まで)

- 1日(水) 民生委員任命式 15時・センター
- 6日(月) 農業委員会・13時
- 7日(火) 自治教室センター
- 8日(水) 町議会協議会9時
- 13日(月) 区長会13時センター
- 西庵地区地域活動指導者研修会・10時センター
- 16日(木) 国保運営委員会 13時・役場会議室
- 20日(月) 町議会定例会9時
- 21日(火) 選挙管理委員会 13時・役場会議室
- 22日(水) 青年団・青年学級 ダンスパーティー図書館
- 28日(火) 御用納め
- 1月1日(土) 名刺交換会 10時・センター
- 2日(日) 消防団出初式
- 4日(火) 御用始め

マリアナ海域

遭難家族へ

富士川町水産鮮魚仕出し組合では例年、組合員全員で懇親会をかねて忘年会をやってきましたが、本年は、マリアナ海域で遭難した方々やその遺家族に思いをよせ、本年は忘年会をとりやめ、義損金として五千円を組合長天野武雄氏を通じて寄附しました。

運転するなら酒飲むな
運転者には酒出すな

蒲原警察署

買収決る

本通り旭町上水道

長年の懸案だった本通り旭町上水道組合の町営移管について、同組合と町当局との間で十月三十日契約書に調印が行なわれた。

同組合施設等の買収費は二百五十万円。町営水道切替え給水は来年一月一日からの予定となつてい

る。本通り、旭町地区の町営水道切替えにより、給水人口約千二百人、世帯二百六十一世帯の増で町営水道給水人口は約一万一千二百人、世帯は二千三百一十世帯となる。

年末年始の

飲酒運転を追放

飲酒運転による重大悲惨な交通事故は、いぜんとしてあとをたたく、日々多くの人命が失なわれつつある現状です。

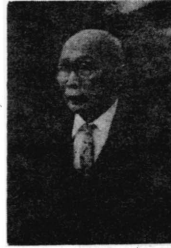
「年末年始の飲酒運転を追放する運動」は交通事情が激化し、しかも飲酒運転が行なわれやすい年末、年始にあつて、県民の総力をあけて飲酒運転をなくすための正しい社会慣習を確立し、交通安全をはかろうとするものです。この運動の目標達成のために次のような重点事項をあげ呼びかけを行なう。

- ※スローガンは「運転するなら酒飲むな、運転者には酒出すな」
 - ※運転者に対しては、飲酒運転防止ラベル(酒を飲んだら運転しない)をハンドルまわりなどに貼付させて「飲酒運転をしないで」という誓いもしていた。
 - ※酒類提供者に対しては、飲酒運転防止ポスターを店内に掲示してもらい、車で来た者には酒を飲ませないよう呼びかける
 - ※事業所、婦人団体、主婦に対しては、モデル事業所を決め、座談会等も開催し飲酒運転防止の趣旨の徹底をはかる。
- 実施期間は四十年十二月十一日から翌年一月十日までの一ヶ月間。

紺綬褒章五人受章

更生保護事業に浄財を寄附した民間の篤志家たちに10日紺綬褒章が贈られ、午前11時から静岡市の日興会館で伝達式が行なわれた。

県厚生保護協会に10万円以上を寄附した一九四人で、当町では次の方が受章しました。(名簿順)
中川国兵さん 町長・農業
坪内佐吉さん 消防団長・請負業



佐野隆之さん 元村議長会社役員
箕常次郎さん 元町議員・農業
なお、消防関係でも、同じく10万円以上寄附した篤志家齋藤頼夫さん(現東京在住・飲食店経営)が受章し、当町関係では計5名もの紺綬褒章者を出しました。
(写真:上から 箕・坪内・佐野 中川・齋藤さん)



タバコの 不始末第一位 火災シーズンに入る

いよいよ火災シーズン、秋季火災予防運動も11月26日から12月2日まで全国一斉に展開されます。火災発生件数は年々増加の一途をたどり、県下では10月末日までに一五三〇件に達し、昨年同期よりも三二五件も多くなっています。損害見積額においても8億一千万円、昨年同期より3千万円の増を示しています。

火災の原因については①タバコ 二二二件で一番多く②子供の火遊び③石油コンロ。ストーブの順です。原因のおもなものが全部人為的のちよつとした不注意なもので、このため、タバコの吸がら、子供の火遊び、石油コンロ、ストーブの取扱いなどに十分の注意をはらうてくたさい。火元の確認、外出時、就寝時の火気消去がたいせつです。また緊急時の場合の一ぱいのバケツ水が大事をくいとめますふだんから心がけましょう。火災通報の緊急電話は一一九番です。

警憲銀行 預託と払出し 8・25〜11・25

預託口座

※ぞうきん 20枚 ハタキ 20本

宮町 白寿会

※ぞうきん 二八〇枚

ハタキ 27本

本通四 明老会老人クラブ

※衣類・他多数 舟山町 小林 勝

現金口座 現金 二〇〇円

(一円玉募金)

東町二 鮎川伸代

※現金 一〇〇〇円 志太郡大井川町

民生委員会

※現金 一〇〇〇円 東町 稻荷金

※現金 二一八九二円 富士川町婦人会

払出し

※ぞうきん 三〇〇枚

ハタキ 四四枚

各々、富士川町警部補派出所

第一小学校、第一幼稚園、岩湖

駅、第二小学校、第二幼稚園、

桜台幼稚園へ

寄附

※町一般寄附金 一万円

※第一小中施設寄附金 四万

中之郷本通一 続あい

町営住宅申込み案内

南松野吉泰、中之郷新町の町営住宅の入居募集要綱が決つたのでお知らせいたします。

●募集する入居戸数

南松野 12戸 新町 2戸

●住宅の規模

第二種住宅 木造平家建

(間取りは下記図のとおり)

●申込み方法

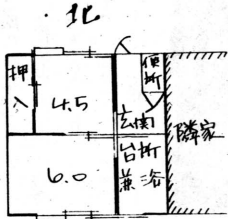
入居申込書(役場または支所にある)に該当する事項を記入して必ず11日までに出して下さい。

●申込み資格

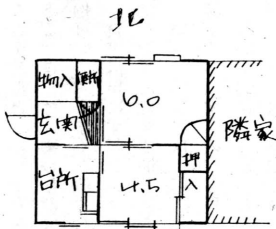
- ①町内に居住しているもの、または町内に勤務場所のある者
- ②現在同居し、または同居しようとする親族がある者
- ③現に住宅がなくて困っている者

④基準収入が月収二万円以下の者、同居家族に収入のある場合は合算する。(総収入、月三万円以下)

●家賃は建設工事が終了しないと決定できないが、およそ月二千元〜二千五百円位の見込み。



新町



南松野

みんなの心が 一つになつて

「たすけあい運動」を

地域住民の善意からお互いにたすけあい、みんなそろつて、明るいお正月を迎えようと、十二月一日から一ヶ月間、県下一斉に「歳末たすけあい」運動が行なわれます。年の暮をまえに低所得世帯、母子世帯、老人世帯、身体障害者世帯は町内に七十世帯を数え、老人ホーム、子どもの施設、長期療養の入院患者など家族と一緒に生活のできない方は四十余人もいますが、この方々には経済的にも精神的にも、また身体的にも多くの苦勞をもつています。

町でも永年「持ちより運動」を展開し例年みなさん方から温い同情をいただき実効を挙げています。昨年は同情金品として
婦人会による各世帯から十万二千円、仏教会の托鉢で五万九百円、一小生徒より一万三千四百円、勤労者協議会その他から一万四千七百円計十八万一千円の現金と、みかん三五〇キロ、白米六斗が併せて寄せられ、配分された該当世帯から大変に喜んでいただきました本年も婦人会はじめ仏教会、老人クラブ、勤労協、学校生徒などあらゆる団体がそれぞれの計画で、

「持ちより運動」を実施いたしますので、是非ともたすけあいの心を倍にして温い手をお願いいたします。
なお十二月の総合相談所は、定例日（第四月曜日）を変更して、十二月九日（木曜日）に行ないます。民生委員会では十二月中、民生委員の自宅をとくに心配ごと相談所として生活相談を行ないます。
民生委員委嘱
十一月三十日で任期満了になつた民生委員が十二月一日付で新しく厚生大臣より委嘱をうけました宇佐美晴雄
（大北、堀之内、西野下平）
田中ヨシコ
（半在家、道上、道下、辻）
浜村 文子
（清水、原方、三十坂）
佐野かつ子
（矢所、新井、中山、平清水）
市川 政男
（根方、市場、水ノ口、桑木穴）
角替 健一
（木島、小山、室野）
水口 大礼
（舟山町、上町）
築田 弥夫

（相生町、旧本町）
齋藤 六郎
（坂下、旭町）
齋藤 みち
（川坂、堺町、新町、新町四十九）
望月 莊一
（小池、宮町、鍵穴）
坪内 隆子
（本通り全区、幸町）
天野 武雄
（東町一、二丁目、日の出町）

赤い羽根共同募金

ありがとうございます

十月一日からはじめました赤い羽根募金は、町内各位ならびに法人事業所より暖いご支援をいただき好成績のうちに完了することができました。



できましたことを、厚くお礼申し上げます。県の目標額より多額に上回り一四三%となり、左記のとおりでしたので紙上報告いたします
記
一九一、七〇〇円 町内各戸募金
一〇一、一〇〇円
町内有志特別募金 七七、二〇〇円 法人募金
八、〇〇五円
老人クラブ街頭募金 計 三七八、〇〇五円
これにより富士川町福祉事業に一八四千元が還元支給されます。

特別弔慰金の制度 三万円国債で支給

昭和二十七年に制定された援護法、昭和二十八年に復活した軍人の恩給法等により戦没者の筆頭遺族に弔慰金五万円が国債で支給されました。

また妻、子、父母などには併せて遺族年金または公務扶助金が支給されています。さらに昭和三十三年内地等の職務関連死亡者の特別法がでて、準軍人の取扱いをうけた遺族には弔慰金三万円が支給されました。

今回特別弔慰金の支給される対象遺族は、前記の弔慰金だけ支給された者で、現在遺族の誰もが公務扶助料や遺族年金をうけていない人が支給されることとなります。その趣旨は弔慰金はいづれも国債で支給されており、昭和三十六年には償還を終了しているので、終戦二十周年を迎え改めて弔慰金をひききたるものです。

●支給されると思われる対象遺族
①遺族援護法により弔慰金の裁定をうけた者で、本年四月一日現在扶助料や年金を受けていない遺族
②戦没者の妻でその遺族と再婚した者
③戦没者の妻で当時の氏を改めないで再婚した者（この場合戦没者の妻以外、遺族がなかつた者）
このほかにも該当する場合があると思われませんが戸籍上のこともあつて個々に相違してくるので、該当すると思われる遺族の方は住民課までお話し下さい。
なお扶助料、遺族年金、弔慰金は昭和十六年十二月八日以後に死亡した元軍人、軍属、準軍人、準軍属の遺族に支給されたものです。

たばこは町内
の財源となります
買いましょ

いよいよ12月、これから寒々とした冬の自然が展開します。……冬季の生活は、なにかと気を配らねばなりません。

12月のこよみ

さて12月は、1年の総決算の月にあたります。あまり押しつもらないうちに、年を越し、新しい年を迎える準備をととのえましょうとくにお買物などはプランをたてて、早めにすませましょう。

また、年末、年始にかけての防犯運動、火災予防、交通事故防止運動などには、ぜひ協力したいものです。一方、二十日前後から冬休みにはいる学童の生活指導や、冬季にはいつて急にふえるかぜひきの予防などに十分気を配って、健康な年末を過ごさせてやりたいものです。

6日は大雪(たいせつ)で、いよいよ本格的な冬にはいります。15日から年賀郵便の特別扱いが始まりますから、できるだけ早目にすませておきましょう。

22日は冬至です。一年中でいちばん昼の短い日です。23日は皇太子誕生日。翌24日、25日がクリスマスとなりま。

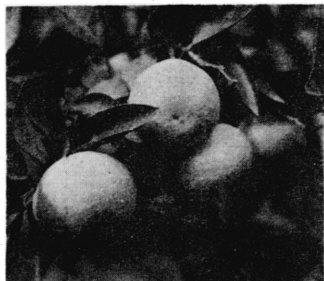
28日は官庁や大会社などの御用納めですが、大半の民間企業や商店などは、これからが年末の追いつみというところでしょう。

いずれにしても、30日、31日には大掃除を終わり、心静かに新しい年を迎えられるよう諸事を手早く片づけましょう。

年末の計画

クリスマスが終わるとあと6日で新年を迎えます。仕事の能率をあげるためにも計画をたてて手順よくすませ、すつきりした気分新年を迎えましょう。

そこで、25日ころから年末までの計画のポイントを次にかかげて……



みました。実施の順序は皆さん各自でお考えください。

◎すすはらい◎しめなわ◎おせち料理、正月用食器類点検、正月用食品の買入れ◎年賀状の出しもれ(28日まで取り扱)表札はわかりよいか◎貸し借りの整理◎正月用衣類の整理◎のみ過ぎ、食べすぎ、かぜなどの家庭菜の用意◎国旗の準備

おいしい野菜・果実

12月はトロロいものおいしいときです。このトロロいものはあくが強く、おろすと変色しやさいいものです。皮をむいたら酢水につけておき、おろすとき布で水をふいてからおろすとよい。

干切りにして酢じょうゆとけずりぶして食べるのもおいしいものです。

やつがしらも12月のもの、塩ゆではあつさりしておいしいしうま煮も日本的な味がして郷愁をさそうものです。

長ねぎが出盛ります。季節の料理スキヤキには欠かせません。関東では白身が好まれますが、関西では葉が喜ばれるとか。しかし栄養の点からみれば葉のほうがビタミンや有機質を含んでいてよいようです。

このほか大根、白菜などいずれもこの季節がいちばんおいしいといわれます。

果実では、リンゴ、ミカン、ぶゆうがき、ほしがきなどがどつと店頭にならびます。こしは台風のたためにいづれもかなり高目のようですが、年末、年始にかけてわたくしたちの食生活に欠かせないものです。また冬季はビタミンCが不足がちな季節なので、できるだけたくさん召しあがって下さい

人の流れ

(敬称略)

祝結婚

区名	新	郎	新婦	旧姓
本一	小沢	正吾	まつゑ	朝岡
舟山	花田	雪夫	和枝	森本
相生	本間	治男	富子	熊倉
旭町	五味	敏男	絹枝	森谷
東一	谷津倉健一	昭子	清	
四十九	吉田	耕造	ふ志江	佐野
新町	渡辺	政志	町子	渡辺
四十九	吉原	弘雄	訓子	樋川
宮町	望月	一男	ふじ江	土橋
相生	谷津倉幸光	たまえ	高岡	
四十九	長谷川静雄	政代	長谷川	
宮町	野中	道人	奈保美	宮崎
清水	渡辺	順義	直美	渡辺
市場	大伏	芳男	まさ子	大村
原方	望月	正晴	令子	浅野

祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄	
宮町	鈴木	満里	正光	長女
宮町	山田	絹代	実雄	長女
相生	岩山	真樹夫	正章	長男
本三	北川	裕子	邦雄	長女
新町	川原	美文	進	長男
四十九	加藤	克樹	隆	長男
室野	望月	篤	勇	長男
相生	岩垣	哲也	良七郎	長男
日の出	鈴木	崇代	重俊	長女
本一	加藤	大助	和彦	長男
四十九	望月	球江	藤一	長女
相生	斎藤	陽子	隆	長女

転出した人

区名	氏名	転出先	
旭町	鈴木	富枝	清水市
旭町	大久保	澄子	富士市
坂下	池谷	ふみ江	千葉県
本三	若月	珠実	清水市
東二	山本	三千代	清水市
宮町	浅場	節子	鷹岡町
舟山	花田	鏡子	由比町
宮町	江口	元子	吉原市
坂下	太田	いし子	吉原市
原方	武井	信子	東京都
大北	杉山	フミエ	清水市

祈冥福

区名	氏名	年令	
本一	続	与一	七七
旭町	望月	実	四〇
相生	寺下	あき	八四
大北	佐野	とし子	四五
原方	宇佐美	安一	七五